

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

7/25 目標に向かって 思いを一つに

ファンキーズ・ダンス・スタジオが優勝を報告

市内岡田を拠点とするFUNKY'S DANCE STUDIO(ファンキーズ・ダンス・スタジオ)のチーム・ファンキーズが「UDO JAPAN 2021」チーム部門で日本予選優勝を飾り藤田市長に報告しました。筑山中学校3年の荒木 汰智さんはチームの強みを「表現力があること」と語りました。また、小郡高校1年の森田 美春さんはソロ部門にも出場し3位となりました。



世界大会、アジア大会への出場権を獲得しました

7/12 教育で世界に支援を

青年海外協力隊 武内さん 表敬訪問

市内在住の武内 梨紗さんが、青年海外協力隊の出発を前に市長を訪問しました。派遣先はアフリカのモザンビーク共和国。天拝中学校で講師経験もある武内さんは、現地で授業計画を策定し、生徒の授業理解を深め、科学への好奇心を高める活動を行います。武内さんは「海外で生活し仕事をしてみたい、そして日本の良さも再確認したいです」と話していました。



出発を前に笑顔の武内さんと藤田市長

7/23 部落差別は今、私たちの身の回りにある問題

筑紫野市同和問題講演会

九州産業大学付属九州産業高校和太鼓部「紫焰楽(しえんらく)」による力強く勇壮な太鼓の演奏で幕を開けた今回の講演会は、筑紫野市出身で西日本新聞論説委員の前田 隆夫さんを招き「ふるさと・筑紫野で学んだこと」をテーマに講演が行われました。

インターネット上に差別が広がっていることなどから、無知・無関心な人が誤った情報をうのみにし誤

解や偏見が助長されていくと話した前田さん。これまでの自身の学びを振り返り、今現実に起きている部落差別の解消に向けて取り組みを続けている筑紫野市で生活することで正しい知識と意識を持てるようになる、と語りました。



勇壮な演奏を披露する「紫焰楽」の皆さん



「筑紫野市の人権教育はまちづくりの礎にすべき」と話す前田さん

7/27

筑紫野市出身のプロバスケットボール選手!!

ベンドラメ礼生選手が藤田市長を訪問

プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」のチーム、サンロッカーズ渋谷で活躍するベンドラメ礼生(れお)選手が藤田市長を訪問しました。

ベンドラメ選手は二日市東小学校・筑紫野中学校出身で、これまでに数々の輝かしい成績を残しています。所属するサンロッカーズ渋谷ではキャプテンを務め、昨年には東京オリンピックのバスケットボール

男子日本代表として出場しました。

藤田市長は「私たちの希望の星。世界と戦うには激しいプレーは避けられないと思いますが、けがに気をつけて頑張ってください」とエールを送りました。

2022-23シーズンは10月から始まります。皆さんの応援をお願いします!



(左から)ベンドラメ選手、藤田市長、那須校長(筑紫野中)



試合で活躍するベンドラメ選手(提供:サンロッカーズ渋谷)

7月~8月

コロナ禍でも夏の思い出を

各地で花火などが打ち上げ

コロナ禍で夏祭りが中止となる中でも夏の思い出をつくってもらおうと、市内各地のコミュニティ、自治会で工夫した取り組みが行われました。

地域によっては、最大限の感染対策を行って規模を縮小して実施したところ、お祭りを中止し花火のみを打ち上げたところがありました。参加した皆さんは浴衣を来て見物するなどして楽しんでいました。



花火を打ち上げ、夏の風物詩を楽しむところも(写真は原田区)

7/25

水遊びを楽しんで

筑紫地区建設コンサルタンツ協会が寄贈

筑紫地区の測量、調査、設計業を営む人で構成する筑紫地区建設コンサルタンツ協会から、水遊び用噴水マットと折りたたみプールの寄贈がありました。同協会の皆さんからは、ボランティア活動として15年以上にわたって福祉用品の寄贈をいただいています。

今回の用品は、子どもたちの夏の遊びが充実するよう二日市保育所で活用します。



藤田市長からは感謝とお礼を伝えました